

スキルアップの第一歩

群馬建協ら
新入社員研修会

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県建設産業団体連合会（同）は10日、前橋市の群馬建設会館で会員企業の2024年度新入社員研修会を始めた。写真。会員企業46社から103人が参加。10、11日の2日間で建設業に関する知識やマナーリテラシーなどを身に付けてもらう。

冒頭あいさつした青柳会長は「社会人として大切なことは『スキルアップし続けること』。そのための一歩と思って臨んでほしい」とエールを送った。



4月に適用された建設業の時間外労働の罰則付き上限規制に触れ、「さまざまな角度から業界が変わる機会だ」と指摘。「皆さんの賃上げに結び付くようになる動きが大切だ」と力を込め、「先輩社員にもお伝え

いたいただきたい」と念を押し

た。研修では、中小企業診断士でコンサル・サポートハウスの社長打尾貞治氏が、建設業界の基礎的な知識を教える。行政書士でファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏は「社会人として知っておくべき『マナーの基本』」と銘打って講演。イメージアップコンサルタントの田中アイ氏は「新入社員のスキルアップセミナー」と題して、コミュニケーションスキルの大切さなどを伝える。

研修会は今回が11回目の開催となる。東日本建設業保証群馬支店が協力している。

第一線での活躍に期待

群馬建協らが
新入社員研修

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県建設産業団体連合会（同）は、10、11日の両日、前橋市の群馬建設会館で、2024年度新入社員研修会を開いている。写真。2日間に分けて開催し、計46社103人が参加する。

青柳会長は「社会人として必要な知識・マナーを習得し、一日も早く建設業界の第一線



で活躍する人材になっていただきたい。大切なことは常にスキルアップし続けることで、そのための第一歩の研修と思って臨んでほしい」と開会あいさつを述べた。

また、「建設業は、材料の価格が上がれば反映されるが、働く人の労務賃金はなかなか上がらない産業だった。2024年問題は、建設業界で働く技術者、事務職の賃金を上げるための運動を展開し、処遇を改善するきっかけになる」と語った。

研修会では、コンサル・サポートハウスの打尾貞治代表取締役が「建設業に関する基礎知識」、行政書士、ファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏が「社会人として知っておくべきマナーの基本」をテーマに講義した。イメージアップコンサルタントの田中アイ氏による新入社員のスキルアップセミナーも開いた。研修会は東日本建設業保証群馬支店が協力した。